

下和泉住宅・神明社の由来

1962年(昭和37年)田圃・畑に挟まれた山林丘陵地を整地して住宅が建設されました。この地を、昔地元ではお伊勢さんと呼んでいました。それはもと山林であった時、山林の中に祠(お伊勢さん)が祀られていたからです。

お伊勢さんは「安永元年二月、今から約二百四十五年前、村の鈴木伊左衛門という人が造営建立した祠」と記されています。

地元の方達は、何かにつけ参拝していたと言われています。

祠を鎮座する

1976年(昭和51年)9月に緑地帯にあった「祠・お伊勢さん」を、現在の地に古里左官(古里勇司氏)が台座を、鳥居等を川原建設(川原清行氏)が建立して、現在の基を作ってくださいました。

神明社社殿奉納

「祠・お伊勢さん」を守るために、鈴木善次郎氏が1988年(昭和63年)社殿を製作、奉納してくださいました。

(現在も社殿、台座は神明社の社殿の中に残っています)

鎮守の府「神明社」完成

1994年(平成6年)11月から鈴木善次郎氏の設計指導で祭世話人会の有志が、ヒノキの丸太を第六天神の北地の地主矢沢友治氏に提供していただき、山林からの切り出し、乾燥、磨き上げを行い、製材作業等は、川原建設さんをお願いしました。

屋根銅板の加工は、業者に依頼しましたが、基礎石・鏝木・棚の製作と社の組み立て作業(足場含む)は祭世話人会の有志で行いました。大作業の素人集団でしたが会員の協力とチームワークで、1995年(平成7年)9月に鎮守の府・神明社が完成しました。。

- * 神明社は 幅:3^尺 奥行き:1.8^尺 高さ:3.5^尺
- * 鳥居は、2回更新し現在の鳥居は2017年(平成29年)9月に建立しました。
- * 灯籠は2009年(平成22年)に設置しました。

2018年11月11日

神明社保存会と住宅祭のあゆみ

神明社保存会への足取り

下和泉住宅では、体育指導委員と青少年指導員が1976年(昭和51年)「子供たちの古里づくり」として、「秋祭り」を行いました。

秋祭りが盛大になるにつれ継続して行くため、世話をさせていただく方達を自治会役員とは別に募り活動する事になりました。

(1)「祭世話人会」の結成

1994年(平成6年)鎮守の府(神明社)を作る前の、8月に体育指導委員や青少年指導員の経験者と自治会役員経験者の有志で、「秋祭りを実行する」団体「祭世話人会(会長成田裕氏)」を結成(20名)しました。

(2)「神明社保存会」への名称変更

「秋祭り・住宅祭」は祭世話人会が主導し、自治会と一緒に主催者として実施していましたが、自治会からの要望により、2002年(平成14年)から自治会(祭実行委員会)単独主催に変更となりました。

翌年、2003年(平成15年)の総会時に「神明社」の保護と「住宅祭・盆踊り」等、自治会行事への協力に会則の目的を変更し、名称を「下和泉住宅神明社保存会(会長榎崎昭氏)」に変更しました。

秋祭り「住宅祭」のあゆみ

1976年(昭和51年)11月に「子供たちへの古里づくり」を作ろうと、体育指導委員と青少年指導員が、こども神輿(樽神輿)の練り歩きの「秋祭り」を初めて開催しました。

以後、名称を秋まつり、団地祭、下和泉住宅祭と変更し、山車の製作、大人、子供神輿の寄贈等があり、練り歩きから立派な渡御行列になりました。

祭世話人会が発足した1994年(平成6年)の時点には、神事と山車・子供神輿・大人神輿による渡御及び模擬店・演芸等、盛り沢山の「住宅祭」が行われています。

2002年(平成14年)渡御に舞踊連が加わり、2010年(平成23年)には、子供の健やかな成長を願って、おくぐりを追加し、現在に至っています。